

10/510417
DT04 Rec'd PCT/PTO 06 OCT 2004

JP U1 58-111466

Title: Reciprocating Type of Compressor

⑬ 日本国特許庁 (JP)

⑭ 実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報 (U)

昭58—111466

⑮ Int. Cl.³
F 16 J 1/16
// F 04 B 39/00

識別記号
1 0 7

庁内整理番号
7912—3 J
6649—3 H

⑯ 公開 昭和58年(1983)7月29日

審査請求 未請求

(全 2 頁)

⑭ 往復動型圧縮機

厚木市緑ヶ丘4—7

⑰ 実 願 昭57—9009

⑱ 考 案 者 野牧茂文

厚木市三田627—9

⑲ 出 願 昭57(1982)1月26日

⑲ 出 願 人 厚木自動車部品株式会社

⑲ 考 案 者 草薙菊生

厚木市恩名1370番地

座間市栗原1087—5

⑲ 代 理 人 弁理士 志賀富士弥

⑲ 考 案 者 三根陽

⑰ 実用新案登録請求の範囲

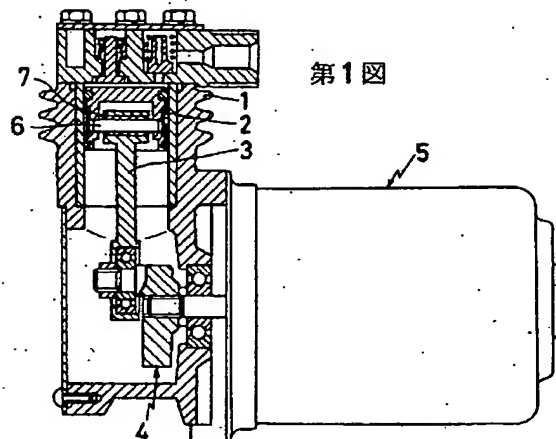
シリンダ1と、シリンダ1内に摺動可能に取付けられているピストン2と、ピストン2に一端側を取付けられているコンロッド3と、コンロッド3の他端側に周縁部を連繋することにより回転運動をコンロッド3乃至ピストン2の往復運動に変換するクランク4と、クランク4を回転させるモータ5を備えていて、該モータ5の回転を前記クランク4とコンロッド3によつてピストン2の往復運動に代えてシリンダ1内にエア等吸入し、かつ吸入したエア等を加圧して外部に吐出させるようになっている往復動型圧縮機において、前記ピストン2とコンロッド3をピストンピン6と軸受7で連結すると共に、これらピストンピン6

もしくは軸受7にはバネ8を作用させて該バネ8の弾発力により、吸入行程においてコンロッド3に作用する引張力に抗してピストンピン6と軸受7を常時、当接させておく構成にしたことを特徴とする往復動型圧縮機。

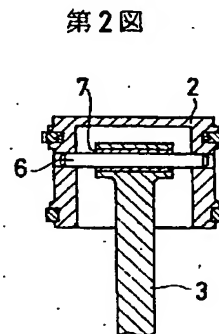
図面の簡単な説明

第1図は従来の往復動型圧縮機の断面図、第2図は同要部の拡大図、第3図は本考案の一実施例の要部の断面図、第4図は第3図のIV—IV線断面図、第5図は他の実施例の要部の断面図、第6図A、Bは軸受の断面図である。

1……シリンダ、2……ピストン、3……コンロッド、4……クランク、5……モータ、6……ピストンピン、7……軸受、8……バネ。

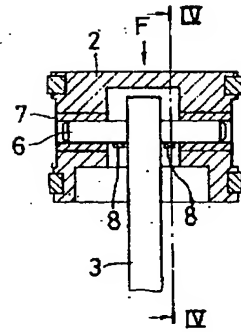


第1図

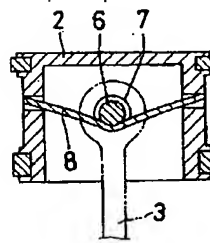


第2図

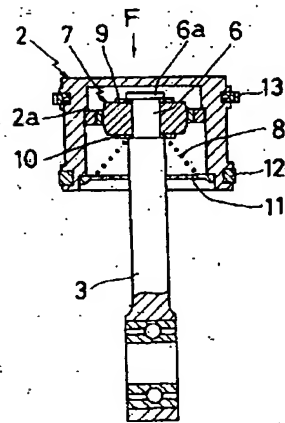
第3図



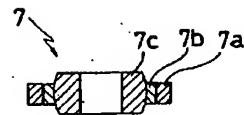
第4図



第5図



第6図 (A)



(B)

